

ベトナム送り出し機関のリクルートの現状 と 手数料問題



0. LACOLIの取り組み

○社名：**LACO労働協力有限公司**
(通称：LACOLI)

○創業：**2014年**

○送り出し実績：**604名**（2021年4月現在）

○実績職種：**惣菜製造業、水産加工、溶接、建設等**

○メディア取材：NHK、AERA、読売新聞、毎日新聞（KOKORO）、朝日新聞、NHÂN DÂN（ベトナム現地機関紙）、『ルポ 技能実習生』（書籍、澤田晃宏氏著）

○セミナー：日越貿易投資・人材活用促進セミナー（於：ダナン、2019年1月13日）





0. LACOLIの取り組み

出国費用

- 法定手数料
- 全職種一律費用

ブローカー排除

- 実習生との金銭やり取り禁止
- 経理を介した費用のミエル化

生活費軽減

- 採用面接前、寮費・水道光熱費・学費の一切を無料化

0. LACOLIの取り組み

Không phải trả phí giới thiệu cho người giới thiệu!!



募集者に紹介料を支払わないこと!!

Gia đình, người thân và học viên chỉ đóng các khoản phí theo quy định của công ty LACOLI tại phòng tài chính kế toán.

Tuyệt đối không phải chi trả bất kỳ chi phí nào cho người giới thiệu(nếu vls) để đi Nhật Bản

Trường hợp gia đình, người thân và học viên bị thu vượt quá mức quy định.
Xin vui lòng liên hệ theo hotline dưới đây để được hỗ trợ.

(右)

〈注意喚起の貼り出し〉

希望者が説明を受け、申し込み用紙に記入をする受付及び募集室の目に付くところに貼り出し、又、費用を支払う経理部にも同様のものを貼り出し。

(左)

〈実習生及び実習希望者への注意喚起〉
実習生及びその家族に対して、日本へ行く為に募集者に直接、「**紹介料を支払わないように**」という内容。



《LACOLIの出国費用圧縮の取組》

○手数料 : **396,000円**（3,600USD）

○その他費用 : **100,000円**（21,000,000VND）

学費・寮費・水道光熱費・教材費・健康診断・査証申請費

***在籍期間を問わず一律。（半年で出国しても、1年で出国しても同額）**

○実習生→募集者の謝礼禁止

○採用面接合格前は食費以外全て無料（寮費・学費・水道光熱費）

送り出し機関に支払う費用 : **496,000円**

0. LACOLIを選んだ理由



(左右)
日本語学習中の実習生



(左) 面接前講習中の実習生希望者

1. リクルートの現状

《ベトナム国内企業の人材確保困難化》

ベトナム国内（特に、ホーチミン市、ビンズオン省、ドンナイ省：いずれも南部）の現地・外資企業でワーカー確保の困難化が起こっている。

2021年第一四半期、ビンズオン省で約10万人の求人があり、旧正月明けのビンズオン省で4万人の求人があり、2021年通年でホーチミン市で30万人の求人が出ると予測されているが、十分なワーカーを確保できた企業は極一部だとされている。

【原因】

1. 地方での工業団地の建設が増加 ※海外からベトナムへの進出も増加している。
2. ベトナム人の気質+コロナ

ベトナム人は老若男女問わず、「家族」が全てに優先される。又、都市部へ出稼ぎに出て、家賃を負担し、コロナの影響でいつ失業するかわからない不安定な状況より、給与が低くても、故郷・家族の近くで働くことを選択する。Grabタクシーや配達ドライバー、小規模小売等の非正規労働者が増加している。2020年時点で2,000万人が非正規労働者で2019年から30万人増加。

1. リクルートの現状

《技能実習生リクルートへの影響》

国内の企業は、福利厚生・各種手当も含めて、5～6万円或いはそれ以上の求人をワーカーに対して出しているところがある。

一般的に収入が「**2倍**」を切ると出稼ぎのメリットが薄れると言われているが、技能実習生の手取りと比較しても、一部その「2倍」の領域に近づいてきている。

ここ数年、様々な問題からベトナム離れが言われ続けているが、今後の経済発展・国内の賃金上昇に伴い、技能実習生希望者のリクルートに更なる影響がある可能性は非常に高い。10年前の中国の経済発展時と同じ現象が起きると想定している。

但し、ベトナムはまだまだ人件費の無駄が多く、今後の発展と共に、自動化や人員削減が起こった場合、反対に職にあぶれたベトナム人が日本を含めた海外へ流れていく可能性も否めず、注視が必要である。

1. リクルートの現状

《コロナ禍における日本と台湾》

海外出稼ぎTop3（2018年～）

1. 日本
2. 台湾
3. 韓国



2018年以降、日本が台湾を逆転してから、1位の座を維持。

但し、日本の入国制限が始まり、既に1年以上、一度、僅かな期間だけ緩和されたが、その後、現在まで再度制限された状態が続き、新規入国はできないまま。

そうした中、日本行きをキャンセルし、**コロナ対策優等生の台湾**へ行先を変更する例が出ている。

1. リクルートの現状

監理団体からの求人票に基づき、実習生希望者を募集するベトナム側の一丁目一番地

《リクルートの手段》

A. 募集ブローカー

B. 送り出し機関募集部（自社の実習生の紹介も含む）

上記の2つの手段に大別されます。
次ページでそれぞれ詳しく説明します。

1. リクルートの現状

A. 募集ブローカー

《定義》

- ・実習生希望者と送り出し機関とを繋ぐ存在
- ・送り出し機関職員、元技能実習生、市区町村の有力者、高等教育機関（高校・専門学校・短期大学等）の教師等
- ・複数の送り出し機関と繋がっていることが非常に多い

《なぜ、複数の送り出し機関と繋がっているか??》

送り出し機関から募集ブローカーへの**謝礼金額が高いところ**を選ぶ為。

謝礼金額は職種によって大きく異なり、500USD～1,500USDと幅がある。

*特にコロナ禍において謝礼額が上昇傾向にある。

1. リクルートの現状

《募集ブローカーの収入》

- | | |
|------------|---------------------------|
| 0. 面接参加時 | (送り出し機関より : 200~1,000USD) |
| 1. 採用面接合格時 | (実習生より : 0~1,500USD) |
| 2. 出国後 | (送り出し機関より : 500~1,500USD) |

0については、特に募集が難しい職種・作業・条件で発生する。500USD程度が多い印象。コロナの影響もあり、一般的に募集が楽と言われる惣菜製造業等の工場作業職種でもこれが発生している例もある。

1の採用面接合格時の謝礼は、実習生と募集ブローカーの個々のやり取りであり、当然領収書もなく、我関せずの送り出し機関が非常に多い。

★募集者は募集した実習生が良い監理団体や企業に行こうが、悪い監理団体や企業に行こうが興味はない。一山いくら、金づる認識が強い。

1. リクルートの現状

《謝礼金額が上昇している理由》

1. 日→越の渡航が止まり、対監理団体の接待費用が浮いた為

→送迎車代、飲食代、マッサージ代等の遊興費を送り出し機関が丸ごと負担している場合、人数にもよるが20万円～30万円は簡単にかかっている。

2. 日本の水際対策による入国不可期間が長期化している為

→ベトナム人の中に、「今じゃなくても…」という意識がある。

3. 北部（ハノイ市・ハイズオン省）・ホーチミン等で市中感染が起こったことで、都市部への移動を敬遠する傾向が強まった為

*ベトナム国内の市中感染は既に落ち着いているが、「移動を控える」という余韻は少なからず残っているように感じる。

1. リクルートの現状

《募集例1》

A recruitment poster with a red background and several 3D red roses. The text is in white, bold, uppercase letters.

**5TR/ PHOM HÀN XÌ
THI NGÀY 7.4. TỈNH
HYOGO. PHÍ 7100
BACK 1000**

ベトナム製メッセンジャー
アプリ「Zalo」の募集グ
ループに掲載されるよくあ
る募集例。

秒単位で次から次へと同
じような募集がupされる。

1. リクルートの現状

《よくわかる解説》

- ・ **5TR/PHOM** : PHOMとはFORM（履歴書のことを指す）。面接に参加した段階で、合格・不合格に関わらず、送り出し機関→募集者に500万VND（約**25,000**円）支払うという意味。
- ・ **PHI 7,100** : 実習生が送り出し機関に支払う費用。単位はUSD。手数料の他、何が含まれているか不明。
- ・ **BACK 1,000** : **出国時**に送り出し機関→募集者に支払われる謝礼。単位はUSD。

1. リクルートの現状

《募集例2》

10triệu /from nông nghiệp
dâu Tây có bảng lương và
senpai |

《よくわかる解説》

10triệu /from :

面接参加で約5万円の謝礼

Nông nghiệp dâu Tây :

農業（いちご）

co bang luong va senpai :

給与明細アリ/先輩アリ

1. リクルートの現状

《募集例3》

合格保証！

《よくわかる解説》

採用面接の合格を保証するから、お金を払え！

1. リクルートの現状

《募集ブローカーの動き》

1. 募集情報収集（謝礼の回数・金額）
2. 投稿主に問い合わせ（実習生が支払う費用、仕事、都道府県等）
3. 実習希望者に連絡

《2と3の間で起こること》

例えば、実習生が送り出し機関に支払う費用が**6,500USD**だった場合、自分の取り分（合格後に実習生から直接もらう謝礼）をいくら上乗せをするか考え、仮に**500USD**とした場合、実習希望者が聞く金額は**7,000USD**ということになる。

1. リクルートの現状

《実習希望者はなぜここまで高額な費用を払うのか？》

1. 募集ブローカーの属性

村や地方の**有力者、教師、親戚**等の紹介を鵜呑みにする

2. 情報の取捨選択の脆弱性

SNS等に**情報が溢れている**為、取捨選択ができない

3. 責任を負いたくない

「自分で決めた・選んだ」より、「**紹介されただけ**」というほうが精神的に逃げ道を作れる

1. リクルートの現状

B. 送り出し機関募集部（自社の実習生の紹介も含む）

【定義】

- ・送り出し機関の社員として勤務

*他の送り出し機関と繋がっていることもある

《なぜ、他の送り出し機関と繋がっているか??》

- ・他の送り出し機関のほうが謝礼金額が高い場合、そこへ候補者を流す
- ・自社で面接が少ない、或いは、候補者が希望する職種がない場合、そこへ流す
- ・自社で扱っていない実習職種、或いは、特定技能求人へ候補者を流す

1. リクルートの現状

《送り出し機関募集部の収入》

基本的に募集ブローカーと同じ。

募集部社員の場合、固定給がある場合もあるが、金額は月額2~3万円程度で、先に述べた募集ブローカーのように出来高の比重が圧倒的に大きい。

固定給が少ない、或いは、無い為、兎に角、候補者に合格してもらう必要がある。よって、他社への紹介を厭うことはほぼない。

結局、募集ブローカーであっても、募集部の職員であっても、送り出し機関のやり方にも、本人たちの意識にもやり方にも差は皆無。

1. リクルートの現状

《募集ブローカーの三重取りを野放しにする弊害》

先に述べた通り、一般的に募集ブローカーが収入を得るタイミングは3つ。

- 0. 面接参加時（送り出し機関から：200～1,500USD）
- 1. 採用面接合格時（実習生から：0～1,500USD）
- 2. 出国後（送り出し機関から：500～1,500USD）

1については、直接的に実習生の出国費用が増えることになる。

実習生を希望する層は月の収入が2～3万円程度が多く、最大1,500USDの場合、まだ入国もせず、実習も始まっていない段階で、給与半年分以上もの金がかかることになる。

0と2については、送り出し機関の利益の中から出ることになるが、対監理団体の接待費がない状況とは言え、好き好んで利ざやを削る送り出し機関はほぼ皆無な為、先ほど解説した内訳不明な手数料（P15）に転嫁される恐れが非常に高い。

2. 手数料問題

《ベトナムの法定費用》

・手数料：3年契約3,600USD以下、1年契約1,200USD以下。
在留資格認定証明書が発給される前に技能実習生から徴収することはいかなる形においても厳禁。

・事前教育費：590万VND/520時間

*入国前講習中の寮費、食費、水道光熱費等は法に定めがない為、各送り出し機関が設定するが、大よそ、どこも大差ない。

出典：労働・傷病兵・社会省の送り出し機関への通知（2016年4月6日 No.1123/LDTBXH-QLDNN）

<https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000325621.pdf>

2. 手数料問題

《出国迄に100万円かかりました！》

100万円

≠

借金

≠

送り出し機関徴収

2. 手数料問題

巷を騒がせている「借金が100万円以上」とは一体何なのか??

「借金はいくらか？」:

私的な借金、家族が既に借金等が含まれることがある。

「送り出し機関にいくら支払ったか？」:

手数料・学費・寮費等は含まれるが、生活費や出国前の荷物準備にかかった費用が含まれないこともある。

「出国までにいくらかかったか？」:

送り出し機関に支払った費用に加え、生活費・出国前の荷物の準備にかかった費用も含まれるが、私的な借金等が含まれない可能性もある。

そもそも、全ての実習生（その家族）が出国までにかけた費用全てを借金（銀行から借入）しているわけではない。

2. 手数料問題

《一般的に出国までにかかる主な費用項目》

- ・手数料
- ・学費
- ・寮費（水道光熱費）
- ・食費
- ・雑費（生活費・健康診断費用等）
- ・募集ブローカーへの謝礼
- ・持ち込み荷物購入費
（食材・スマホ・衣料品等）

〈その他〉

- ・借金を借金で返済：
送り出し機関に支払う以上に借金を
して、**既にある借金を返済する**
- ・家族の私的な購入費用：
捕らぬ狸の皮算用的に、実家の家具
家電を新調

持ち込み荷物の購入費や〈その他〉の費用については、送り出し機関では関知できない。

《100万円の内訳》

①送り出し機関に支払う費用：約780,000円

*P15の7,100USDを使用

*寮費・学費込みと仮定

②食費＋生活雑費：約100,000円

*500円/日×30日×6か月＋α

③募集ブローカーへの謝礼：約55,000～16,5000円

*500～1,500USD計算

④持ち込み荷物購入費：約50,000円

*食材・衣料品・スマホ等

小計：Min約**980,000**円

LACOL労働協力有限公司

〈注釈〉

・送り出し機関に支払う費用780,000円の中に寮費・学費が含まれているという想定であり、含まれていなかった場合、更に100,000円程度が増える。

・P13にも記載の通り、「借金を借金で返済」「家族の私的な購入費用」があった場合、更に増加する。

2. 手数料問題

《監理団体側からの要求事例》

・キックバック

- 東京A監理団体：2,000USD/名（採用面接時1,000USD、出国時実習生持参で1,000USD）
- 岡山B監理団体：1,500USD/名（名目：入国後レクリエーション費用）

・失踪賠償

- 東京C監理団体：1名失踪につき、1年目20万円、2年目15万円、3年目10万円
- 愛知D監理団体：1名失踪につき、一律20万円

・管理費値下げ

- 大阪E監理団体：5,000円→3,000円/名

・管理費の還流

- 熊本F監理団体：海外送金した管理費を渡航時に丸ごと、或いは一部を現金で受け取る。

その他、講習委託費不払い、面接渡航費用・宿泊費・接待費用送り出し機関負担など。

2. 手数料問題

《外国人技能実習機構からの注意喚起》

平成29年12月14日

【送出機関との不適切な関係についての注意喚起】

<https://www.otit.go.jp/files/user/docs/291218-06.pdf>

令和元年10月31日

【送出機関との不適正な関係について（再度の注意喚起）】

<https://www.otit.go.jp/files/user/docs/291218-06.pdf>

2021年3月12日

【第9回 MOC に基づくベトナム社会主義共和国との定期協議（概要）】

<https://www.otit.go.jp/files/user/210408-11.pdf>

当然だが、発覚すれば、監理団体は許可取り消し。
組合員である他の受け入れ企業にも計り知れない被害・迷惑がかかる。

2. 手数料問題

《手数料問題を監理団体・受け入れ企業が気にすべき理由》

出国までにかかる費用は送り出し機関ごとに大小の差が非常に大きく、その差が2倍になることも少なくない。

50万円の差があれば、送金額で考えると、給料が発生する35か月のうち約6か月（17%）分にあたる。

出国までにかかった費用が大きければ大きいほど、失踪等のトラブルの増加に直結することになる。

「出国までにかかった費用が大きい→目標の貯蓄額に届かない→失踪してもっと稼ぐ」という短絡的な思考になることも大いにありえる。

又、出国費用が高い、借金が多いことは、返済に意識がいきがちになり、集中して実習に取り組むという意識になりにくいという弊害もある。

《技能実習制度が今後も続く為に》

まず、技能実習制度はベトナム人にとって、技能実習生にとって、人生を変えることができるほどの影響力のある制度である。

単に、収入という意味でも、ベトナムでは何年かかるかわからない金額を3年で貯蓄することができる。

それをもって、ベトナム人にとって非常に優先順位の高い「家」の購入の頭金にできたり、家族の繋がりが非常に強いこともあり、実家の改装・改築をすることも可能である。

又、きちんと将来の青写真を描ける実習生であれば、日本で働きながら、N2やN1を取る者もいる。

ベトナムでは、日系企業の進出の多さ、送り出し機関の多さから日本語の需要は非常に高く、N2以上があれば、ベトナム国内での2倍以上の給与を得ることも決して難しいことではない。

実習へ行って、人生が好転、或いは、劇的に好転した例は数知れない。

アメリカンドリームならぬ、ジャパンドリームが技能実習制度には確実に存在する。

《送り出し機関を選ぶ重要性》

監理団体の中には、手数料問題は、「送り出し国での話」と我関せずのところも存在する。

又、多くの受け入れ企業は、「監理団体が契約している送り出し機関」というだけで、特に自身で考えず、受け入れている。

しかし、法的にも最終的にリスクを負うのは受け入れ企業であることを理解する必要がある。

実習生の受け入れにかかる費用も安くなく、失踪によって人員に穴があき、被害が出るのも受け入れ企業である。

コンプライアンスの徹底が叫ばれているが、川上から川下まで、一貫した取り組みが今後、更に重要になってくる。

実習生に限らず、日本という国が今後も日本に選ばれる国であり続ける為には、1者だけではなく、関係各所全てが、共通した意識を持って、制度を運用することが非常に大切であると考える。

ご清聴ありがとうございました

各種リンクのご案内

『ベトナム人技能実習生の理想&現実』

<https://www.facebook.com/vietnamtechnicalinterntainee>

『LACOLI HP』

<http://lacoli.vn/ja/>

『LACOLIとは？』

<https://drive.google.com/file/d/1swfwxO3U8BJm3NMiisGpL3yumuLFENCh/view>

*2020年1月作成の為、数値に若干のズレがございます。

『労働・傷病兵・社会省の公文書』（2016年4月6日 No.1123/LDTBXH-QLDNN 在越日本国大使館仮訳）

<https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000325621.pdf>



お問い合わせ先

LACO労働協力有限会社

Tel : +84-2438 770 999 (代表/日本語可)

Mail : info@lacoli.vn (代表/日本語可)

LACO労働協力有限会社 対外事業部部长 宮本

Mail : miyamoto.lacoli@gmail.com



本日の発表、或いは、技能実習制度関係でご不明な点等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。